

教育理念・目的・  
育成人材像

今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、現行の授業計画を見直し、度重なる変更の中、教職員が一丸となって、授業や実習を行った。これらは、教員にとって大変な負担となったが、これからの学校のあるべき姿を模索し、推進すべき方向を考える機会となった。学生に対しても、その都度説明し、理解を得ながら進めた。アンケートからは感謝の言葉や、達成感が得られた声があり、学習内容の到達もできたと思われる。次年度も学生に不利益とならないよう計画をしていきたい。

学校運営

中期的計画「定員40名を満たした魅力ある学校づくり」の2年目。「国家試験合格率100%」「受験者の確保」「教育体制の充実」は継続して取り組み、充実させていきたい。今年度は度重なるカリキュラムの変更、中止にも対応したことで、単位不足や時間不足が起こることはなかった。また、学生の不安を早めに察知し、対応に当たることで、混乱がなく、運営することができた。次年度は、同様に新型コロナウイルス感染対策を重点目標に加え、組織的に十分に対策を立て、対応していきたい。

今年度、新理事長が就任し、学校組織図を新たにし、周知している。学校長を中心とし、法人や学校関係者評価委員会をはじめ、地域、各機関と連携し運営に当たれるよう臨みたい。

教育活動

教育方法に関しては教育理念に沿った目標の設定や教育課程の編成方針、実施方針を定めているかについては高い評価を得た。

今年度は多くの授業が予定通りには進まなかった状況であったにもかかわらず、教育活動の評価が高い。これは各教員がそれぞれの教育観と看護観に基づき努力をした結果と考える。次年度も学校や臨床現場で学ぶこと、演習、交流などに制限を受けることが予測される。「コミュニケーション能力の向上」と「判断能力の向上」は引き続き重点目標にあげ、取り組む必要がある。今年度は臨地実習や演習といった実践的な学習体験が少なく、卒後の実践に影響を与えることが予測される。大阪府看護協会や大阪府看護学校協議会とも連携し、必要となる卒後の指導体制については、できる限りの協力をしていきたい。

学修成果

今年度卒業生35名、うち大阪府内就職者は28名。全体の80%。今年度は病院の就職試験の開始が遅れている。就職面接がリモートになるなど例年通りに進んでいない。第一志望の病院に合格しなかった学生、複数受験

している学生などがいた。希望者就職は 100%。昨年度は感染拡大により、キャリアガイダンスも中止せざるを得なかったが、今年度は 1 年次学生に対して 3 月にはキャリアガイダンスを行い、就職に向けた計画的な取り組みやマナー等を伝えた。次年度には図書室にあるキャリアインフォメーションのコーナーに卒業生の就職先などを記載し、情報発信の場としてより充実させたい。また、希望する学生には就職情報の提示や相談を受けられるよう準備し、希望者就職 100%、大阪府内就職者 80%となるよう努めたい。教員間では学生の就職活動の情報共有を進め、支援を充実させたい。国家試験の合格率は毎年全国平均を上回っている。今年度は合格率全国平均 90.4%の中、本校は 100%となった。

今年度、統合実習に協力頂いた、卒後 1～6 年目までのさわ病院へ就職した卒業生への卒後のアンケートを行った。アンケートからは充実した様子がわかった。今後も卒後の調査については検討する。

## 学 生 支 援

今年度の前期はリモート授業となり、学習支援もリモートや個別登校で行った。しかし、学習習慣が身につけていない学生にとっては学習内容の理解は難しい。次年度も学習支援の対象となる学生の早期の把握と支援を行えるようにしたい。

新型コロナウイルス感染に伴う経済的不安に対しては情報を周知したのち、1名の学生に早急に対応した。次年度には高等教育修学支援新制度の対象校の指定を受け、経済的支援の選択肢が増えた。本校学生は親としての役割を持ちながら学ぶ学生が多いため、経済的支援が必要な学生には支援が行き届くよう体制を整えていきたい。

## 教 育 環 境

今年度は感染対策として、環境を整備し、保健所、法人感染対策本部等と連携し感染防止にあたった。また、情報が得られれば早急に対応できるように努めた。その効果か単発で陽性者が出ることはあってもクラスターとなることはなかった。専門職としての感染対策の意義について教育すると共に施設整備を充実させる対策は十分に行っていく。

## 学生の募集と 受入れ

「学生の募集と受入れ」に関しては例年実施している学校訪問は、緊急事態宣言や教員の実習・授業の負担が増大したため、行うことができなかった。事務局からは遠方の学校に訪問した。かわって、今年度初めての取り組みで zoom によるオープンキャンパスを行った。また、感染対策のため、各回参加者を 10 名前後の少人数に制限し、開催の回数を増やし実施した。YouTube による発信も行った。その効果か受験応募人数は前年度の 1.5 倍。2021 年度入学者は、42 名、受験者倍率 1.47（前年度 1.1）となり、目標を達成した。

次年度は願書の提出方法を変更し、学生が受験の予定が見通せるよう工夫する。大阪府看護学校協議会での募集活動もコロナ渦でリモート、SNS を活用した活動に変化してきている。追従できるよう学内での取り組みにも力を入れていきたい。また、サブパンフレットは学生アンケートを実施し、学生の意向を反映させたものに見直した。2 年間で看護師資格取得ができるニーズに答えるべく本校の存在意義は大きく、本校の魅力を伝える活動は強化したい。

## 法令等の遵守

学校評価については、自己評価に加え、今年度から学校関係者評価委員会を立ち上げ、外部からの評価を受けることにより、学校運営の改善に取り組む機会となった。自己評価、学校関係者評価の結果については HP に記載し、社会に公表している。これにより入学希望者が学校の運営を知り、受験志望に結びつくことにも役立てたい。また、受験者の 65%以上の学生がホームページを見たこと（その内の 80%以上はスマホからのアクセス）を受験動機の一つにあげている。そのため、入学希望者、関係各機関が見やすく、広く学校を知ってもらえるものとなるようホームページを改善していきたい。

## 社会貢献・ 地域貢献

学校施設利用について、今年度は休業要請や新型コロナウイルス感染対策により、利用の機会は減少した。可能となれば、解放したい。